

2019年度(平成31年度)使用
福山市立小学校用教科用図書採択結果について

種 目	発行者名	教科書名	採 択 理 由
国語	光村図書出版	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に「学習」として、教材文を読み取る視点やまとめ方の例を示している。「たいせつ」の枠内に単元で付けた力と、学習のポイントを示している。「ふりかえろう」の枠内に、目標に対する振り返りを示している。 ○ 第5学年の報告文を書く単元では、書く手順を、取材・構成・記述・交流のまとまりに沿って単元の初めに示し、単元の目標となる活動に色を付けている。その後、項目ごとに説明している。「報告書の例」を見開きで示し、構成や見出しなど書き方のポイントを説明している。 ○ 発展的な学習の扱いとして、巻末「付録 学習を広げよう」に第1～6学年で計15編の読み物資料を示し、本編と関連させて複数の読み物資料を読ませることを位置付けている。 ○ 巻末資料「学習を広げよう」には、『『たいせつ』のまとめ』を掲載し、当該学年の学習のポイントを示している。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、「言葉のたから箱」として日常的に使う言葉を、「学習に用いる言葉」として学習用語を示している。「この本読もう」として、図書の紹介をしている。 ○ 学校図書館機能の活用について、全学年で、読書単元や図書紹介とともに設定している。(第1・3学年各6ページ、第2・4・6学年各1ページ、第5学年4ページ、計19ページ) 第6学年において、文学館の利用について示している。
書写	光村図書出版	書 写	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第6学年「字配り・配列」の単元において、考える視点や手段を順序立ててまとめ、目標を示している。 ○ 学習の振り返りをする自己評価欄は、第1・2学年が2段階評価、第3～6学年が3段階評価で、評価の視点の数は、9～17である。「まとめ」の単元では、第3・4学年で自分のめあてを記入する枠、第5・6学年で自分の課題を選び、手本の中に書き込みをする枠を設けている。 ○ 単元・題材や資料の配列は、毛筆教材数が第3・4学年10～15教材、第5・6学年7教材、硬筆教材数が第1・2学年30教材程度、第3・4学年15教材程度、第5・6学年27教材程度、硬筆記入欄が第1・2学年20ページ程度、第3～6学年10ページ程度である。 ○ 横画の始筆・送筆・終筆の穂先の向きを2ページ分の写真で示すとともに、「トン」「スー」「トン」という言葉を添えている。始筆・送筆・終筆の穂先のよい例と悪い例を比較して示している。 ○ 全学年「国語の学習に生かそう」のマークで、インタビューメモ、手紙、パンフレット、リーフレットなどを示している。また、実生活に生かすために、各学年の巻末に「資料」として、新聞、電話メモ、はがき、原稿用紙などを取り上げている。

社会	日本文教出版	小学社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1単位時間のめあてを、見開きごとにキャラクターのイラストとともに、「どんな～だろう」「～理由は何だろう」などの問いかけの形態で示している。 ○ 大単元の導入で、見開きの頁構成により、写真で地球の様子を示し、分かったことや疑問に思ったことをキャラクターの話し言葉で掲載している（吹き出し数4）。 ○ 「これから食料を安定的にまかなっていくために、どんなことに力を入れていけばよいのか」など、補充発展教材の分量は、上巻が14頁、下巻が20頁となっている。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」で場面に応じた学習方法を示している。「キーワード」で学習に大切な言葉を説明したり、「やってみよう」「考えるヒント」で、作業内容や資料読み取りのヒントを示したりしている。 ○ 歴史では、ノート・図・カード・ポスター・地図など、多様なまとめ方を提示したり、資料を示しながら歴史上の人物がおこなったことを発表する活動を例示したりしている。
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年 最新版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民族衣装・あいさつの言葉、地域の国旗や特色を示すイラスト・写真を掲載している。世界自然遺産・ラムサール条約登録湿地・貴重な動植物等を記号で示している。 ○ 防災マップづくりの手順を示すなど、作業的・体験的な学習を例示している。また、「地球儀を使ってみよう」で、紙テープを使って、距離や方位を調べる方法を写真入りで掲載している。 ○ 日本の各種地図、世界の各種地図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。また、日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示している。 ○ 索引での場所の探し方をキャラクターの吹き出しにより説明している。索引では、記号や色で地名の種類を示している。（索引頁数：6頁／掲載地名数：日本約2,000項目、世界約260項目） ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法や、調べる視点を示している。また、「トライ！」で、簡単な作業を指示し、資料の活用方法を示している。
算数	日本文教出版	小学算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年「図形の面積」の台形の面積の求め方を考える問題では、2通りの解決方法のヒントを図と言葉で示し、その方法を説明する活動を位置付けている。 ○ 第2学年以上の上巻頭「さあ、算数の学習を始めよう」、上巻末「学び方ガイド」では、問題解決的な学習の過程とそのポイントを示している。 ○ 第2学年以上巻末「算数マイトライ」では、活用的な問題、発展的な問題を位置付けている。 ○ りすのキャラクターは、既習事項や解決方法のヒントを示し、児童のイラストは、説明の仕方を示している。 ○ 第2学年以上の上巻末の「算数で使いたいことば・考え方」では、児童に使わせたい数学的な考え方の表現例を学年に合わせて示している。

理科	東京書籍	新しい理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験については、自己チェック欄が入った準備物一覧を表記し、フローチャートと番号で手順を示している。 ○ 第4～6学年の初めに問題解決の学習の進め方を示すとともに、各単元で問題解決の過程を緑色のラインで示している。観察・実験の結果を考察する場面「考えよう」を設定し、考察の視点を与えている。「まとめ」は、「問題」に対応した答えを、箇条書きで示している。 ○ 巻頭で、問題解決の学習の進め方を提示し、巻末で、学年の振り返りと次学年の学習内容、理科の調べ方の資料、切り取って使う資料を掲載している。 ○ 学年ごとに設定されたキャラクターが問題解決の能力、学習のヒント、注意について示し、子どものイラストが、疑問や気づきを示している。「問題」「観察・実験」「まとめ」をあらわすマークを設定している。 ○ 単元末の活用で、既習内容をもとに、科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを説明する活動を位置付けている。また、巻末に、ノートの書き方や話し合いの仕方などを掲載している。
生活	日本文教出版	わたしとせいかつ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会との関わりについては、地域で働く人などと児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについては、同じ場所のイラストや写真で、四季の変化を対比させて示している。 ○ 上巻最初の単元「いちねんせいになったら」で、上級生と登校している児童、授業風景、笑顔で花壇の周りを走っている児童をイラストで示している。 ○ 上下巻それぞれで主人公を設定し、ストーリー性を持たせた展開としている。多様な対象との出会い、関わりを通して、関心や意欲を高めながら追及していく構成にしている。 ○ キャラクターが、児童に活動や思考を促している。見開きページの右端に「側欄」、右下に「めくり」を設定したり、アドバイスを「青マーク」、安全面やマナー面を「赤マーク」、活動の広がりを「緑マーク」で示したりしている。 ○ 単元「発見！町へとび出そう」において、パン屋や図書館で働く人などへのインタビュー、地図や新聞などを活用した伝え合い、地域の人を招いた発表会、お礼の手紙などの活動を示している。

音楽	教育芸術社	小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標は、見開き左ページ上に示し、その下に「～しましょう。」と活動文を示している。題材名は、題材の冒頭ページ左側と見開き右ページ上に通し番号とともに示し、共通事項は、題材、学習目標、活動文中に示している。 ○ 「音楽づくり」は、題材の中に配置し、歌唱・器楽・鑑賞と関連させながら取り組めるように学習過程を示している。 ○ 題材は、第1・2学年、第3・4学年、第5・6学年の構成（題材数：第1・2学年は8、第3～6学年は7）が統一されている。歌唱は、第3学年から部分二部合唱、第5学年から三部合唱を配列している。器楽は、第1学年から合奏曲を配列している。打楽器や鍵盤楽器の基礎的な奏法は、第1学年で、言葉の説明とともに写真や図で示している。 ○ キャラクターの吹き出しで、学習活動のヒントを示している。鑑賞・音や音楽をつくる学習は、マークで示している。巻末の「ふり返りのページ」で重要な理解事項・学習事項をまとめている。階名による視唱奏のための楽譜の扱いは、第2学年の5曲目から五線の楽譜を示している。 ○ 第3・4学年では、鑑賞教材のうち1曲においては、「きくときのポイント」を示し、気が付いたことや感じ取ったことを記述するワークシートを示している。また、記述したことをもとにした話し合いの視点を示している。
図画工作	日本文教出版	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材における学習の目標を「学習のめあて」枠を設け、4つの観点で示すとともに、活動後の児童のふり返りの言葉を掲載している。 ○ 鑑賞題材「教科書美術館」「図画工作の広がり」「ぞうけいのもり」を設け、絵画や彫刻などの作品や活動の様子、身近なものの造形を写真で掲載している。 ○ 題材を造形遊び・絵・立体・工作・鑑賞の5項目に分類して配列している。見開きで提示されている題材が全学年合計115、1ページで提示されている題材が6である。 ○ 作品の解説・表記では、題名、大きさ、材料とともに、作者の考え及び感想を示している。作品例だけでなく、制作過程の児童の様子を写真とコメントで掲載している。 ○ 鑑賞活動では、カードを用いた鑑賞の方法を具体的に示している。鑑賞の視点を吹き出しで示している。
家庭	東京書籍	新しい家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語は厳選してゴシック体で表記している。実物大の作業場面の写真を左利き、右利きとも同数掲載し、紙面に手を合わせて練習ができるようにしている。 ○ 小題材1、2、3に対応する「ふり返ろう」を質問形式で設けている。巻頭折返しで「成長の記録」を設け、題材ごとに自己評価し、振り返るページを設けている。 ○ 「できることを増やしていこう」の内容で10題材、「力を高め周りの人も笑顔にしよう」の内容で10題材扱っている。 ○ 学習上参考となる資料等を「資料」や「図」のマーク等で取り上げている。また、学習内容に関する専門家の声を「プロに聞く」のコーナーで取り上げている。 ○ 生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動をさせる場面を「活動」のマークで示している（51か所）。

保健	学研教育みらい	みんなの保健	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8種類のけがの簡単な手当の方法について、イラストと解説を掲載している。「通報のしかた」を示すとともに、「発展」の内容として「心肺蘇生とAED」と「熱中症」について示している。 ○ 生活を振り返って書く活動、単元の振り返りを書く活動、教科書冒頭・終わりの考えを書く活動を通して、学習の動機付け、実生活との関連付け、各単元の振り返りをさせている。 ○ 発展的な学習に関する内容を17項目の事例を挙げて示している。「医薬品の正しい使い方」については、1頁分で具体例を示している。 ○ 単元「育ちゆく体とわたし」における本文記述との関連付けたイラスト・写真・グラフが9箇所ある。調和のとれた食事が大切であることを説明するバランスのとれた給食の写真を提示している。 ○ 自分ができていることやできそうなことをチェックする活動や振り返りと学んだことを生かして書く活動を設定し、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動を取り入れている。
----	---------	--------	--